

防犯ボックスだより 2022年8月号

侵入窃盗犯人の心理と行動

今月号では、侵入窃盗犯人の心理と行動について紹介します。
犯人側の視点に立って防犯を考えてみましょう。

① 犯人が侵入しやすい家かどうかを判断するチェックポイントは？

- ・ 庭木など、死角になるものがある。
- ・ 足場になるものがある。
- ・ 窓のクレセント錠の位置が開けやすいところにある。
- ・ 犬がない。

一度敷地内に入ってしまうと、庭木が死角になり、
通行人から見つからず、背の届かない窓から侵入する
際に使用できる脚立や踏み台が庭に置かれている家な
どは、犯人にとって好都合です。



② 犯人は留守をどう見抜いている？

- ・ 犯人の46%は、侵入する家のインターホンを鳴らしている。

インターホンが鳴ったので出てみると誰もいない。こんな時は、安全
を確保しながらも、周囲に不審者が潜んでいないか確認する必要があり
そうです。

③ 犯人はどこから侵入してくる？

- ・ 令和2年中の事例を見ると窓から侵入されるケースが顕著です。
一戸建住宅 16,316 件のうち 54%、
共同住宅（3階建以下） 4,083 件のうち 50%、
共同住宅（4階建以上） 1,900 件のうち 30%

窓の戸締りをしていなければ犯人にとって渡りに
船です。

暑い日が続きますが、クーラー等を上手に使った
暑さ対策を行い、しっかり戸締りをしましょう。



④ 犯人が嫌いなことは？

- ・ 犯人が犯行をあきらめた理由は、「近所の人に声をかけられたり、ジロジロ見られた」が最も多い。

上記の理由で犯行を断念した者の数は、警察官の姿を見て犯行を断念した者の数を大きく上回っています。

見慣れない人を見かけたら、まずは、「何か御用ですか？」と声をかけることが有効です。

と言っても、一人で声をかけるのは勇気がいることですので、自主防犯パトロールが行われていると心強いでしょう。

「自主防犯団体」紹介コーナー

【つつじヶ丘自治会】

活動日を定め、自治会会員の輪番制による昼間と夜間のパトロールが長きにわたり実施されています。

昼間のパトロールは、「わん！だふるタイム」（午後3時頃）に行われ、豊田小学校児童の安全確保にも一役買っています。



地域の安全は住民の総力で守る！ この日のパトロールには8名が参加、折からの雨も、なんのその2班に分かれて地区の隅々までパトロールを実施しました。

※「わん！だふるタイム」とは…

茂原市では、子どもの登下校時間に合わせて、ウォーキングや犬の散歩を行いつつ、子どもたちを見守る活動への参加を呼びかけています。

この地域ぐるみで子どもたちの安全を見守る時間のことを、犬の散歩が素晴らしいボランティアにもなることから、犬の鳴き声の「ワン！」と素晴らしいという意味の「ワンダフル」をかけて「わん！だふるタイム」と名付けています。

平日の月曜日と金曜日の午後3時には、防災行政無線から、わん！だふるタイムの見守りを願う小学生の声が流れてきます。

〈連絡先〉

- (1) 茂原市防犯ボックス【茂原ショッピングプラザアスモATMコーナー】

Tel 0475-23-8171 (毎日12:00~20:00)

- (2) 茂原市役所 市民部 生活課

Tel 0475-20-1505 (月~金8:30~17:15)